



熱心に草木染めの説明をしています

来島交流センターで、みんなの来島プロジェクトによる「みんなじカーニバル」が開催されました。今回のイベントでは、小中学校の児童・生徒も自ら考案した商品で出店。来島小5、6年生は、草木染めした布で作ったハンカチやヘアゴムなどの小物、赤来中の生徒は、卒業研究として考案したパフェを販売。立ち寄る人に、商品化までの過程をしっかりと伝えていました。クレープやクッキーなどの出店や、多肉植物の寄せ植え教室、プラモデルの制作体験などのワークショップもあり、町内外から多くの人が来場してにぎやかな時間となりました。



多くの人でにぎわいました
みんなじカーニバル



思い思いに多肉植物を寄せ植え



集中してプラモデル作り

9.28
土



近畿地方在住の飯南町出身者で構成される「近畿飯南会」のつどいが大阪市内で開催されました。催しでは、4人組のサックスグループによる演奏や飯南神楽団の「大蛇」に90人を超える出席者から拍手が起りました。飯南町の特産品が当たる抽選会も行われ、会場が盛り上がりました。近畿飯南会の張戸節雄会長は「5年振りに開催でき、うれしい。今後もふるさと飯南町を盛り上げていきたい」と話していました。



ふるさとを想い会話が弾む
近畿飯南会のつどい



会の最後には、全員で「ふるさと」を合唱

9.15
日



力を合わせて優勝目指す
志々地区合同体育大会

志々小学校のグラウンドで、小学生と住民による「合同体育大会」が開催されました。菅龍昭会長は「雨予報でしたが、なんとかもってくれた。怪我のないように今日一日楽しんでください」と挨拶。小学生16人と、5つの地区に分かれた住民が、さまざまな種目で競い合いました。参加者は、指示された風貌の人を探し借り人競争や、玉入れとダンスを融合させたチェッコリダンス玉入れなど、工夫を凝らした種目に、力を合わせて挑みました。



親子と一緒に、ダンスをしながら玉入れ合戦

9.21
土

谷自治振興会と谷公民館が共催で「第2回防災ウォーキング」が開催されました。参加者は、出発前にノルディックポールの使い方の指導を受け、校庭で試し歩き。スタート地点の塩谷下集会所から井戸谷上の区間約2キロメートルを二手に分かれて歩き、危険箇所などを確認しました。ウォーキング後は、谷笑楽校で非常時の体験として湯煎で米を炊き、その間に、ウォーキング中に気が付いたことを参加者同士で共有しました。



谷めぐり+α
防災ウォーキングin塩谷下と井戸谷上



子どもから大人まで約30人が参加されました

9.29
日



地域が一体となって運動会
赤名町民大会

赤名小学校グラウンドで、赤名公民館主催の「第53回赤名町民大会」が開催されました。当日は晴天に恵まれ、保育所の児童から大人まで約70人が参加。パン食い競争や地区対抗リレー、竹切り競争などの種目で競い合い、優勝を目指しました。閉会式では、家族賞やMVPなども選ばれました。参加者からは「参加人数は昔より減っていますが、幅広い年代で盛り上がるのができて楽しかったです」との声が聞かれました。



リレーでは、子どもも大人も真剣勝負

9.29
日



地元住民との交流と田舎の秋を体験
佐見地区稲刈り交流

姉妹都市である兵庫県伊丹市の市民と佐見地区の住民の稲刈り交流会が行われました。伊丹市から参加した19人は、佐見地区の農事組合法人大安伸が管理する10アールほどの田んぼで、地区住民に教わりながら、稲刈りを体験。鎌やコンバインで稲を刈り、ヨズクハデにハダ干しをしました。参加者からは「伊丹市に住んでいると、なかなか体験できることではないので、来年も参加したい」との声が聞かれました。



ハダ干しを終えて、笑顔で記念撮影

9.29
日



かつての三日市のように
第1回三日市

来島三日市の連坦地内で「三日市」が開催されました。このイベントは、「三日市ににぎわいを取り戻す！」を合言葉に有志で組織された「三日市笑天会」がえびす祭に協賛して開催。連坦地内にある商店を中心に飲食やライブやアートパフォーマンス、野菜市などが開かれました。来場者からは「連坦地に多くの人が訪れてにぎやかな雰囲気でした。これからも続けてほしい」との声が聞かれました。



法被やのぼりなどお祭りらしい雰囲気に

9.23
月